

- ① 資料Cの南アフリカ共和国の輸出品にみられる白金族のように、埋蔵量が少なく、純粋なものとして取り出すことが難しい金属を何というか、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。 []
- ア レアメタル イ サバナ
ウ プランテーション エ フォッサマグナ

int 携帯電話やコンピュータ、自動車などの製造に使用される。

資料C チュニジアと南アフリカ共和国のおもな輸出品目と輸出総額に占める割合(2012年)

チュニジア (%)	南アフリカ共和国 (%)
機械類	金(非貨幣用)
衣類	白金族
原油	機械類
石油製品	自動車
化学肥料	鉄鉱石
無機化合物	石炭
はきもの	鉄鋼
繊維品	野菜・果実
オリーブ油	石油製品
野菜・果実	ダイヤモンド
その他	その他
計	計
総額 17007 (百万ドル)	総額 86712 (百万ドル)

(『2014/15 世界国勢図会第25版』より作成)

- ② 資料Cのチュニジアや南アフリカ共和国は、資料Aからわかるように、「中所得上位～高所得」の国に属する。これら2つの国にみられる輸出の特徴を、輸出品目の種類に着目し、資料Bの2つの国と比べながら、簡潔に述べなさい。

【解答】① (1) エ (2) 記号：イ，理由：(例) 一人っ子政策によって、人口増加が抑えられたため。 (3) ウ (4) ① 経済特区 ② イ
② (1) エ (2) ① エ ② イ (3) ① ア ② (例) 資料Cの国は、資料Bの国と比べると、輸出総額に占める工業製品の割合が大きく、農産物や鉱産資源へのかたよりが小さい。

【解説】

- ① (1) ペキン(冷帯(亜寒帯))に属するので、夏と冬の気温差の大きいエと判断する。アは東京(温帯)、イはシンガポール(熱帯)、ウはリヤド(乾燥帯)。(2) 中国では1979年から2015年まで一人っ子政策が行われていたため、1980年代以降の人口増加率が減少していることを読み取る。(3) Dの韓国が位置する朝鮮半島は北半分が冷帯(亜寒帯)に属し冬が寒いため、保存食としてキムチが食べられていることからウと判断する。アはAのサウジアラビア、イはCのベトナム、エはBのインドである。(4) ① 中国の「改革・開放」政策により設置された経済特区(経済特別区)により、中国经济は急速に発展した。② 日本の主な輸入品目に肉類や魚介類が含まれていることから判断する。アは韓国、ウはサウジアラビア、エは中国の統計。
- ② (1) 植民地時代に宗主国の意向で住民の生活と関わりなく直線的な国境線が引かれ、各国の独立後も多くがそのまま残っている。(2) ① ア：コーヒー豆と野菜・果実ですでに40%以上。イ：金、貴金属鉱、銅鉱の合計は47%。ウ： $5547 \div 2891$ で計算すると、タンザニアはエチオピアの約1.9倍。② ODA：政府開発援助という。アはヨーロッパ連合、ウは東南アジア諸国連合、エは非政府組織である。(3) ① 希少金属ともいう。イは熱帯に分布する草原地帯、ウは熱帯・亜熱帯地域を中心に大規模工場生産方式を取り入れて単一の商品作物を大量に栽培する農園、エは日本の本州中央部に位置する大地溝帯。② 資料Bの輸入品目上位が農産物や鉱産資源なのに対し、資料Cの輸出品目上位には機械類や自動車が入っていることに着目してまとめる。